

2026年度 運輸安全マネジメントの取り組み

株式会社ゼロ・プラス中部
代表取締役 荻野正貴

A わが社は毎年度、運輸安全マネジメントに関わる具体的な取り組み方策を定め社内に掲示、周知します

- 【安全方針】
- 1) 安全輸送が最重要課題であり、経営の根幹をなすものであることを深く認識し、日々輸送の安全の確保に努めます。
 - 2) 事故撲滅を目指し、全従業員に対し徹底した指導を継続します。

- 【安全活動方針】
- 1) 法令の遵守、基本理念・方針を周知徹底し、輸送の安全確保の意義と重要性を認識させます。
 - 2) 全従業員が「運輸安全マネジメント」を確実に実行し、輸送の安全について継続的な改善・向上に取り組みます
 - 3) 愚直な活動と遂行の継続

- 【安全方針に基づく活動計画】
- 1) 年間安全活動計画書に基づいた実行と進捗確認
 - 2) 運転者に対する教育実施の徹底（VR機器の活用 トラック協会）
 - 3) 指導者への教育（自動車事故対策機構等の講習受講も活用）
 - 4) グループ活動（班活動）の強化、定期実施とヒヤリ・ハットカード・改善提案書の提出
 - 5) 指差呼称（声だしの徹底）の完全実施にて事故撲滅をさせます

- 【安全に関する情報交換】
- 1) 毎月の月頭朝礼・事故ゼロデー朝礼（20日）実施
 - 2) 安全担当者による毎月の安全衛生会議を実施、決定内容、指示事項、注意喚起を乗務員へ展開
 - 3) 協力会社との定例連絡会・安全パトロールの実施
 - 4) 運転手を数名のグループに分け、班長から情報発信・意見交換などを行う

- 【昨年度の安全に関する反省事項】
- 1) 重大事故（踏切事故、追突人身事故）2件発生
 - 2) 人身事故、目標0件に対し3件（追突2、交差点内接触1）、物損事故も数件は”運転中”の不注意であった
 - 3) 基本作業の未実施、後方・導線に確認不足によるバック事故の事故も多かった

- 【反省事項に対する改善方法】
- 1) 運転による事故、初任診断結果等の情報も用い運転手の長短所を周知し個々への教育を実施する
 - 2) 事故惹起者への添乗指導教育を強化、指導者への教育も外部機構の講習も活用し実施する
 - 3) 火災対策とし日常点検にて空転確認他の所定項目の完全実施、所定期間内での整備・管理も漏れなく実施する

B わが社は毎年度、運輸安全マネジメントに関わる取り組み状況を把握し事業所内に掲示します。
安全目標及び達成状況や自動車事故報告規則で定める事故に関する統計を公表します。

【2025年度 安全実績】

安全管理項目	抑止目標	事故実績	達成状況
自動車事故報告規則第2条に規定する事故	0件	2件	未達
交通事故（人身）	0件	3件	未達
交通事故（物損）	11件	8件	達成

【2026年度 安全実績】

※安全目標は前年度実績の20%減を目指します

安全管理項目	抑止目標	事故実績	達成状況
自動車事故報告規則第2条に規定する事故	0件		
交通事故（人身）	0件		
交通事故（物損）	6件		